

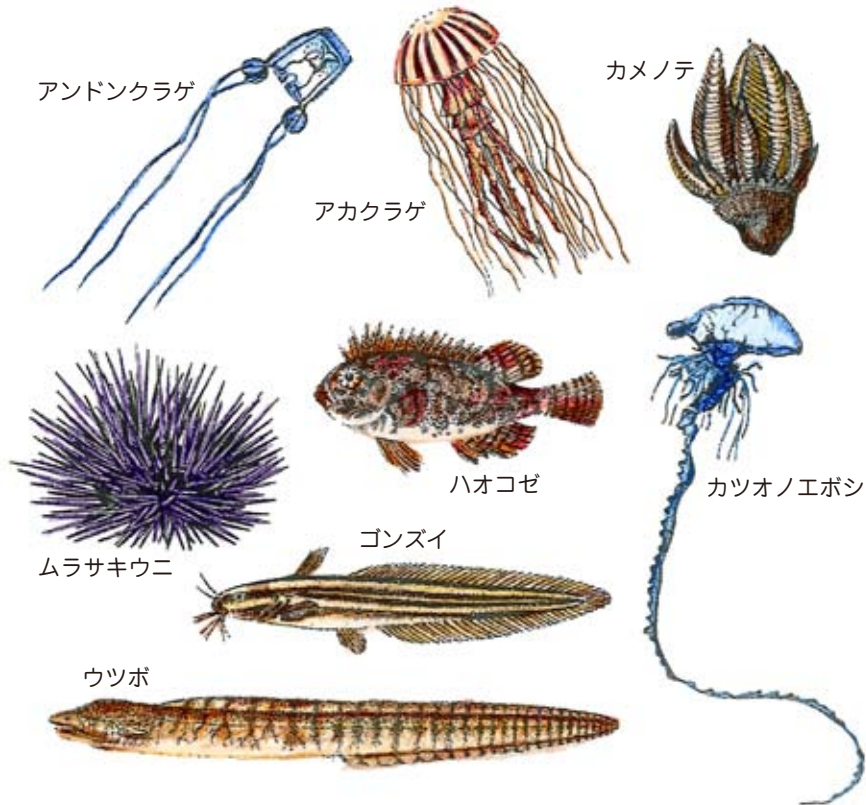


## 海の危険(きけん)な生物

大きな石にはえた海草は、すべりやすくて危険(きけん)だし、岩場にはフジツボやカメノテなど、先がするどくどくあった貝がついていて、足や手を切りやすいので、こうした場所では十分気をつける必要がある。

海底の海草のしげみの中には毒をもったオコゼがいたり、ムラサキウニやガンガゼなどの、するどいトゲのはえたウニ類がいるので、ふみつけないように用心して歩かなければいけない。

また、クラゲの仲間にも毒のある刺胞(しほう)をもったアンドンクラゲ、アマクサクラゲ、カツオノエボシなどがおり、とくにエボシ型の浮(う)きぶくろをもち、アイ色をしたカツオノエボシは毒性が強く、これにふれるとはげしい痛みをともなって皮膚(ひふ)がはれあがるので、もしみついたらよけて泳ぐ。もしさされた場合は、海水でよくあらってから氷や冷水でひやし、病院へ行こう。



## ●行動・観察記録●

いつ	月	日	曜日	天気
だれと				
どこで				
何をした				

見たこと・聞いたこと・気づいたこと

行ったところの地図や観察したものをかいてみよう